

釜内浴湯の見える化  
システム開発を手掛ける  
ダイレクト21(神奈川県相

ダイレクト21

## 仕組みを動画で公開

好評の「新局部加圧システム」

使いやすく、リピート増

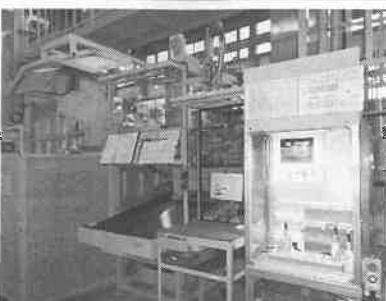
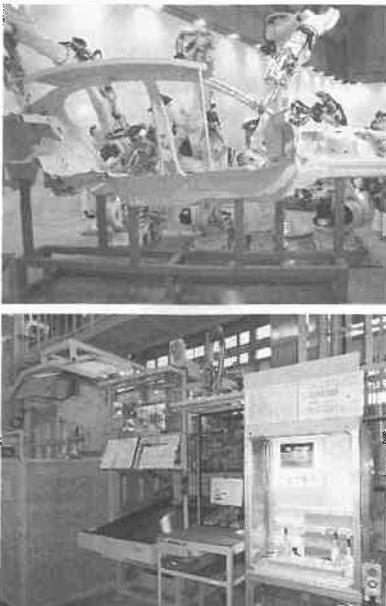
横原市、岩本典裕社長は  
ダイカスト製品のひけ巣対  
策として使われる局部加圧  
の動画を作成、ユーチュ

ブニアップした。(https://  
youtu.be/bPBUHARcC)。

同システムは現場でとても  
使いやすないと好評を得て  
おり、リピートも多い。局部  
加圧の原理を製品全体に適  
用した製品「次加圧法(第  
二の型内射出)」は、導入が  
容易で確実な効果が見込ま

世界中で「100年に一度の大変革」といわれ、I  
OTやAI、ロボットを取り入れた製造業の在り方や  
脱内機関の次世代車シ  
トが始まっているが、まだ  
コンセプトが独り歩きして  
いる面もある。ドイツ発の  
インダストリー4.0に至  
つてもお膝元の欧州では中  
小企業の自動化が急速に進  
展しているかといえば、そ  
うでもない。ただモノづくり  
輸出大國化を目指す中国

日本の24歳以下の人口比  
率は1955年が55%だっ  
たが2030年は18%とも  
予想されている。生産年齢  
(15~64歳)は2000年の  
8600万人から202  
5年に7千万人、2060  
年に4400万人との試算  
もある。超少子高齢化によ  
り日本の人口形態は以前の  
ピラミッド構造から、極端



このねずかな差を制する  
現代のダイカス  
トだからこそI  
OTやロボッ  
ト、AIの必要  
性、親和性が非  
常に高いといえ  
る。熟練技能者  
の技を標準化・  
自動化するだけ  
でなく、今まで  
見えたかった不

れため、「今後不可欠な装  
置になる」と同社。製品二  
次加圧の実績は「層流や縦  
横ダイカストマシンで増え  
てている」という。

「最近、チルバントや真空法  
によるダイカスト製品の密  
度低下(ゲート近くのひけ

若者の人口比率20%切る

## 人口形態激変で省人化に IoT、ロボット活用で企業の

だから、やるべきを得ない  
といった後追いの姿勢では  
いられない実情がある。世  
界に先駆け、超少子高齢化  
が待ったなしで加速し、労  
働人口が減少しているため  
だ。

### 逆ピラミッド

日本の24歳以下の人口比  
率は1955年が55%だっ  
たが2030年は18%とも  
予想されている。生産年齢  
(15~64歳)は2000年の  
8600万人から202  
5年に7千万人、2060  
年に4400万人との試算  
もある。超少子高齢化によ  
り日本の人口形態は以前の  
ピラミッド構造から、極端

工程でコスト削減できる余  
地は2割しかないことにな  
るといわれ、このため生産  
工程でコスト削減できる余  
地は2割しかない量産工程の領  
域でコスト勝負をせざるを  
得らず、非常に厳しい土俵

で競争しているといえる。  
条件が複雑で最適化が大  
きな意味を持つ。いわゆる「O-I  
OTによるデータ収集す  
ればいい」というものでもな  
く、目的を絞った収集が重  
要になる。ダイカストでも  
データは収集したがどう  
かそれ以上の人間では感知  
できない領域の世界を制す  
ため競争しているような  
ものだ。

ただIoTやAIは技術  
の底上げにはなるが、万能  
ではない。前述のダイカス  
ト経営者もその辺りは織り  
込み済みで「当社のつくつ  
た製品を完成車×1台」が  
できることを明確に示す。テ  
ーナーでは解説したが、データでは解  
明できないことがあった

とし、データでは解説でき  
ないブラックボックス的な  
ノウハウがダイカストには  
あると確信する。技術プロセスはわか  
っても、ある企業じゃないと製  
品化できない、ということ  
がある。レンジはわかって  
もできない領域がダイカス  
トにはあり、非常にアフロ

トはダイカスト製品のグロ  
ーバルな地産地消モデルは  
今後も成立しないと予想す  
る。世界展開で生きるものと  
どこかに集約した最適地で  
つくらないとできないもの

## わずかな差が世界制す

ダイカスト、人では感知できない領域で競争

日本の組織は依然、人材  
流入が始まるが、ダイカス  
ト経営者諸氏は「あくまで  
日本はIoT等の進化により  
流動性が海外に比べ低く、  
いま規模拡大をしてい

る」などもデータ収集す  
ればいいといつものでもな  
く、目的を絞った収集が重  
要になる。ダイカストでも  
データは収集したがどう  
かそれ以上の人間では感知  
できない領域の世界を制す  
ため競争しているような  
ものだ。

ただIoTやAIは技術  
の底上げにはなるが、万能  
ではない。前述のダイカス  
ト経営者もその辺りは織り  
込み済みで「当社のつくつ  
た製品を完成車×1台」が  
できることを明確に示す。テ  
ーナーでは解説したが、データでは解  
明できないことがあった

とし、データでは解説でき  
ないブラックボックス的な  
ノウハウがダイカストには  
あると確信する。技術プロセスはわか  
っても、ある企業じゃないと製  
品化できない、ということ  
がある。レンジはわかって  
もできない領域がダイカス  
トにはあり、非常にアフロ

トはダイカスト製品のグロ  
ーバルな地産地消モデルは  
今後も成立しないと予想す  
る。世界展開で生きるものと  
どこかに集約した最適地で  
つくらないとできないもの

記事・広告掲載のお問い合わせは

TEL. 03-5391-7300  
FAX. 03-5391-7301  
メール: office@tkdcnews.com

〒170-0013 東京都豊島区東池袋5-8-17 イトーピアマイズ池袋1003 ダイカスト新聞社

生産現場で貢献

高速X線CTスキャナ

高速性

現場主義